

市議会

近藤栄紀  
議員



## ○ 第6次勝山市総合計画について ○ 中学校再編計画について

その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染対策について
- ・行財政改革について
- ・新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用した経済対策について

**議** 高齢化が進む中、将来にわたって高齢者が安全安心で楽しく暮らしていけるために、今後10年、20年先、地域の公共交通体系をどのように構築していくのか。

**理** 第6次勝山市総合計画では、政策目標を「安全で快適な生活環境が維持された住みやすいまち」として定め、鉄道、路線バスを効率的に接続し、市内外の人が移動しやすい地域公共交通体系を構築するとともに、高齢者の運転免許自主返納を推進し交通事故の抑制に取り組む方針としている。

今後の取り組みは、令和4年度に希望地区を募り、自家用有償旅客運送の実証実験を行うとともに、現在策定中の「勝山市地域公共交通計画」では、令和6年度以降を目標に乗車希望場所から降車希望場所までを直接つなぐデマンド交通の導入を予定している。

**議** 中学校の統合、高校との併設は賛成であるが、体育館・グラウンド等の高校との共有、ジオアリーナ間の地下通路、スクールバスの問題に抵抗を感じると市民は言う。

今後、早急に検討し、説明・理解してもらおう必要があると思うが、市の考えを伺う。

**理** 体育館・グラウンドの共用について、具体的な使用例も示しながら説明してきているところだが、今後は専門部会で詳細に検討し、その状況を適切な方法で議会や市民に情報提供し、ご理解いただけるよう努めていきたい。

また、地下通路については、令和4年度に事前調査を実施し、設計へ向けた整備方針等を考えていく。照明は極力明るくし、内面の美観を考慮するなど生徒が安心して通れる構造や仕様にしていきたい。

スクールバスは、3中学校を統合することによって生じる課題で、発着場をジオアリーナにする提案をしたい。今後、通学に必要な地域や保護者等の意見を十分に聞き、また専門部会でも協議しながら、安全で使いやすい運営・運行システムを目指していきたい。

日本共産党

山田安信  
議員



## ○ 中学校を勝山高校の敷地内には建設しないことについて

その他の質問

- ・ロシアによるウクライナ侵略を断固糾弾し、核兵器による威嚇を許さないことについて
- ・過疎地域や特別豪雪地帯などの制度を活用し、勝山市を持続的に発展させる取組みについて
- ・勝山ニューホテルの譲渡のように、見直すべきは徹底的に見直すことについて

**議** 市民署名は、中学校を1校・2校・当面3校と意見は違うが、「勝高敷地に建設は最悪の選択」の一致点で協力している。

教員と市・県・国職員のOB、薬剤師や会社社員、自営業者など幅広い市民が参加している。また、市民が自己判断で自発的に行動し、区長会などの団体に頼らず、肩書も使わないで取り組んでいる。

2月11日の新聞に署名用紙を折り込み、わずか12日後の市民集会で有権者の約2割、3400筆も集まり、驚く勢いである。

この市民署名と市民の声を、市長はどう受け止めているのか。これを無視して強行するのか。

**理** 今回の署名は、市議会議長宛ての陳情書とともに提出されたもので、今定例会の委員会においてしかるべく審査されるものと考えている。

**議** 梅田教育長は、「県内の連携型でうまくいっていないのは高校と中学校が離れているからで、くっつけばうまくいく。」と説明するが、秋田市立御所野学院は、中高が

同じ敷地内の「連携型」なのに、連携高校への進学が激減し、検討委員会が「中高連携の中止、高校の廃止」を答申した。この事実をご存知か。

**理** その事実は承知していない。その辺については、しっかりと検討、研究したい。こういう状況に至った経緯を委員会までに調査し、その時点で私どもの考え方を申し上げたい。

**議** 勝山市の計画がこの通りになるとは言わないが、こういう結果を招いたら子供たちが大変な目にあう。内部で簡単に調べて見解を示して済ませるレベルの話ではない。

勝山高校にくっつけることが中学校と勝山高校のために良いのか、専門家も入れて抜本的な検討が必要だと厳しく指摘しておく。

